

9月20日（金） 2024年度秋季リーグ戦第3節2回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	0	2	0	2	0	0	0	0	2	6
太成大	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2

大阪公立大学(3塁側)

対

太成学院大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	2	府立生野	3	0	0	
2	遊	疋田	3	広島新庄	2	0	0	
3	右	前田	2	須磨学園	3	1	1	
4	指	中村	4	市立西京	2	1	0	
5	左	林	1	大阪明星	4	1	0	
6	三	石守	3	札幌開成中等教育学校	3	2	0	
7	一	大西	3	長田	4	2	1	
8	二	樋口	3	刈谷	3	0	1	
9	捕	小田竜	3	県立伊丹	3	1	2	
投		吉岡	2	大阪明星	-	-	-	
		中野	4	兵庫	-	-	-	
		利川	1	西大和学園	-	-	-	
		古谷	4	県立高島	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	2	8	5	3	0	27	8	5

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	遊	夜久	4	松商学園	4	1	0	
2	左	森山	4	みどり清朋	4	0	0	
	打	南	2	高取国際	1	0	0	
3	三	北野	2	創志学園	5	1	1	
4	指	上之原	4	港	3	1	0	
5	右	内藤	4	信太	3	1	0	
	右	山本	1	明石商業	1	1	0	
6	中	造酒	2	山形創学館	2	0	0	
	打中	堀野	1	帝京第五	1	1	1	
7	一	東浦	4	五條	1	0	0	
	打	新居	1	生光学園	0	0	0	
	走	真木	1	長崎創成館	0	0	0	
	一	高宮	1	信太	0	0	0	
	打一	杉本	2	徳島県立海部	1	0	0	
8	捕	山下	3	静清	2	0	0	
	打	米倉	4	大阪商業大学	0	0	0	
	走	中原	1	箕面学園	0	0	0	
9	二	平尚	1	都城	1	0	0	
	打二	波田	1	柳井学園	3	0	0	
投		一ノ瀬	1	福知山成美	-	-	-	
		平日	3	上宮太子	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	8	5	1	0	1	32	6	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
吉岡	2 2/3	48	14	10	2	0	3	1	1
中野	4 1/3	63	14	12	0	7	1	0	0
利川	1	20	6	6	3	0	0	1	1
古谷	1	27	5	4	1	1	1	0	0
合計	9	158	39	32	6	8	5	2	2

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
一ノ瀬	3	51	13	7	3	0	4	2	2
平日	6	90	27	20	5	2	4	4	3
合計	9	141	40	27	8	2	8	6	5

【戦評】

打線を繋ぎ、昨日に引き続き勝利を掴もうと試合に挑みました。

1回表、先頭の根来（経2・府立生野）が四球で出塁すると、疋田（工3・広島新庄）が犠打を成功させます。続く前田（現2・須磨学園）が四球により出塁し一死一二塁の場面で、主将中村（文4・市立西京）が安打を打ち、満塁とします。その後ダブルプレーによりこの回は惜しくも得点に繋げることは出来ませんでした。初回から流れを掴みます。

2回表には、石守（経3・札幌開成中等教育）が安打で出塁すると、続く大西（法3・長田）が捉えた打球は左中間への三塁打となり、1点を先制します。その後樋口（工3・刈谷）の犠飛により大西も生還し、この回2点を奪います。

一方守備では、本日先発の吉岡（法2・大阪明星）がテンポの良い投球で相手打線を打ち取り、初回を3人で抑えます。

2回裏にも、安打、犠打などにより二死一二塁のピンチを背負うも、遊撃手疋田の落ち着いたゴロさばきにより3つ目のアウトを奪い、相手に得点を与えません。

しかし3回裏、吉岡は一死から四球、盗塁などによりランナーを三塁まで許すと、続く打者に適時打を放たれ1点を返されます。その後も死球、失策により二死満塁のピンチを背負い、吉岡はマウンドを降ります。次にマウンドを任されたのは、4回生の中野（商4・兵庫）。これ以上失点をしたく無い場面でしたが、中野は落ち着いた投球で続く打者を打ち取り、この回を最少失点に抑えます。

4回表、この日も石守、大西が連打で出塁すると、小田竜（工3・県立伊丹）が右中間へ適時二塁打を打ち、2点を追加。再び流れを引き寄せます。

4回裏からも登板した中野は、この回2つの三振を奪い、相手打線を3人で抑えます。5、6回にも中野は安定した完璧な投球によりどちらも三者凡退で抑え、4回生の意地を見せます。

7回裏には四球、犠打によりランナーを二塁まで許すも、続く打者をセンターフライに打ち取ると、最後は本日7個目の三振を奪い、相手打線に得点を与えることなくマウンドを降ります。

攻撃では5回表、一死から前田が右中間への三塁打により出塁し追加点のチャンスを作るも、相手の好守に阻まれ、得点には繋げることは出来ません。

8回表にも中村が四球、林（工1・大阪明星）がバントヒットにより出塁します。その後石守が犠打を成功させ、一死二三塁のチャンスを作るも、この日も惜しくも得点には至りません。

8回裏のマウンドを任されたのは、リーグ戦初登板、1回生の利川（経1・西大和学園）。丁寧な投球により、テンポよく2つのアウトを奪います。しかしその後、利川は3連打を浴び1点を失うも、続く打者を内野ゴロに打ち取り、最少失点で切り抜けます。

9回表、最後の攻撃。小田竜の四球、根来（経2・府立生野）の死球、疋田の犠打により一死二三塁のチャンスを作ると、続く前田の犠飛により小田竜が生還。その後相手の失策により根来も生還し、この回2点を追加。更に点差を広げます。

後は守るだけの9回裏。大事な場面でマウンドを託された古谷（経4・県立高島）は四球や安打により出塁は許すも、最後は2者連続で打ち取り試合終了。6-2で勝利いたしました。